

一橋大学

スポーツ研究

2011

Vol.30

グローバルの過程とスポーツの変容

目次

はじめに	岡本 純也	1
I. <論考>		
1. 武徳会ページの審査実態 －審査結果の全体像と本部役員のページを中心に－	坂上 康博	3
2. 「スポーツと開発」をめぐる諸問題 －実行組織としての NGO に関する包括的研究にむけて－	鈴木 直文	15
3. 「戦後日本の地域スポーツ転換のグラデーション」試論	尾崎 正峰	23
4. 学校運動部活動研究の動向・課題・展望 －スポーツと教育の日本特殊的関係の探究に向けて－	中澤 篤史	31
5. 高い競技力を有する実業団陸上競技部監督によるマネジメント －トップレベル 19 チームに対する定性的調査－	中村 英仁	43
II. <研究ノート>		
1. EU とスポーツ政策	坂 なつこ	51
2. スポーツ研究と「統治性」	鬼丸 正明	57
3. 地域活性化策としてのスポーツ・ツーリズムの可能性	岡本 純也	61
III. 特別報告		
英国におけるスポーツ史研究のこれまでをふりかえって	市橋 秀夫	67
IV. 総目次『研究年報 1982～2002』『一橋大学スポーツ研究 2003～2011』		85
V. 2010 年度研究会日誌／執筆者紹介		103

編集後記